

ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会  
第1回大阪府実行委員会

- 1 開催日時 令和5年7月3日（月）午後3時から午後4時
- 2 場 所 国民會館12階 大ホール
- 3 出席者 24名【出席者名簿】のとおり
- 4 議事
  - (1) 第1号議案 第19回食育推進全国大会大阪府実行委員会の設立について  
原案どおり承認 会長、会長代行の発言は【別紙1】のとおり
  - (2) 第2号議案 役員を選出について  
原案どおり承認
  - (3) 第3号議案 令和5年度事業計画及び収支予算（案）について  
原案どおり承認
  - (4) 第4号議案 大会概要（テーマ、コンセプト、コンテンツ）  
及びスケジュール（案）について  
原案どおり承認。委員からの意見は【別紙2】のとおり

【配布資料】

- |       |   |
|-------|---|
| 資料1   | 第19回食育推進全国大会大阪府実行委員会設置要綱（案）                       |
| 資料2   | 第19回食育推進全国大会大阪府実行委員会役員を選出について                     |
| 資料3   | 令和5年度事業計画、収支予算（案）                                 |
| 資料4   | ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会の概要及び<br>スケジュールについて（案） |
| 参考資料1 | 「第18回食育推進全国大会 in とやま」概要                           |
| 参考資料2 | 「第18回食育推進全国大会 in とやま」チラシ                          |
| 参考資料3 | 食育推進全国大会実施要領                                      |

## 【別紙1】会長、会長代行の発言

### ■ 大阪府知事 吉村会長

来年の6月に、食育推進全国大会が大阪で開催されます。この食育というのを考えてみれば、非常にこの万博と理念が共通してるんじゃないかと思っています。食育推進全国大会の翌年には、2025年大阪関西万博があります。この食育推進全国大会、これを素晴らしいものにして、その万博に繋げていきたいと思います。万博のテーマは未来社会の実験場、そして、いのち輝く未来社会、いのちがテーマになっておりますから、健康、豊かに生きていくということが大きなテーマで、これと食というのは非常に共通していると思います。大阪はなんといっても食文化の中心地で、全国に絶対負けない素晴らしいものです、世界に負けないものが大阪の食文化であり食です。大阪の食や食文化、健康を万博とつなげ、食育推進全国大会を素晴らしい健康、大阪の食の未来を作っていくものにした。そのためには、本日ご参加の皆様のご協力なくしては実現できないと思っている。食育推進全国大会を食の魅力、食のちから、食のすばらしさを全国に発信し、万博にそして未来につなげていきたい。

### ■ 大阪市長 横山会長代行

関係各位におかれましてはご参加いただきありがとうございます。吉村会長の方からありました通り、2025年大阪関西万博が開催されます。これに向け、大阪で全国大会が開催されることは非常に意義深い。食育の推進はこころとからだの健康、非常に重要な取り組みである。大阪は食の街、食文化を力強く発信していく、大阪関西万博の魅力とあわせて発信する。大阪市の課題でもある健康寿命の部分で、食育を通して健康寿命の延伸を目指していく。この取り組みを通じまして大阪の街、食文化を力強く発信して、健康増進に努めていきたいと思っております皆様どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

## 【別紙2】委員発言概要

### ● A委員

大阪は食の創造都市を目指している。外国人が日本にきて一番やりたいことは食事。食の人気は圧倒的に高い。万博において、健康と食の関心が高い。なんとか関わりたいという人も日本各地にたくさんいる。24年はまずはそれらのひとをひきつけて25年につなげるということでも大変インパクトがあると考えている。海外でも食育がしっかり行われている。食育をこの機会に、子ども世代から若い世代にしっかり浸透させることが、都市として成熟するにあたって重要だと考えている。食のテーマはいろいろあるが、やはり安心安全ということがより求められている。皆様と一緒にタグを組んで23、24、25年と横の繋がりで盛り上げていきたい。

### ● B委員

毎年6月を食育推進月間として、食育推進活動をしっかり行っている。全国大会はその中でも中核的なイベントである。農林水産省共催なので、大阪府設定のテーマに沿い、伝統ある大阪や関西の食文化、これを広く紹介をしたいと思っている。特に食文化という観点では、若者への発信をしっかりとしていく、関西の食の盛り上げにも、私達としてもしっかりと貢献したいと考えている。食育をめぐる新たなテーマとして、食料の安定供給の重要性、我が国農業生産状況や地産地消の取り組みについてもぜひ発信をしたいと考えている。

### ● C委員

会として、健康の維持増進、疾病予防の観点から、栄養バランスの取れた食生活を発信したいと思っているが、食育となると、美味しく楽しくなければいけない。ましてや、大阪の食文化をどう取り込んでいくか大事ではないかと思う。そして、それが持続可能なサステナブルな食であるということ踏まえて、未来の食に繋がれたらいいと思う。食の町、食文化の町として、食い倒れにならないように、頑張っていきたい。

### ● D委員

大阪ヘルスケアパビリオンで、未来の大阪、大阪の食文化というのを一つのテーマとして考えている。そういう意味では非常に親和性があり、ぜひ協力してやっていきたいと考えている。特に全国的な機運醸成というのは非常に重要なテーマであり、万博開幕のおおよそ300日前位の来年の6月のタイミングで、全国各地から多くの方が大阪に来ていただいて、その方々へのPRも含め、万博の機運をさらに盛り上げていく機会があるということは非常にありがたいと思う。万博の魅力を発信するという観点から、しっかりと協力してやっていきたい。

### ● E委員

大阪の貴重な魅力の一つは食でごある。万博に繋がるような形で、大阪の食を盛り上げる、さらには身近なところの食を召し上がっていただくことは、脱炭素社会の実現に繋がる。フードマイレージが少なく済むということで、来場者の気運を高めたいと考えている。あわせて、大阪の1次産業の振興にしっかりと繋げていきたい。

## ● F委員

全国大会は健康でありますとか、教育、それから栄養、生産・食料とあって、それから観光、文化など非常に幅広い範囲である。日本食は健康食として非常に注目をされているところ。1970年に大阪で万博があった頃の食事が一番良い食事だったのかもしれない。それから50年ほど経ち、少しずつ日本食の良きところがかくれつつある。今回の開催にあたって、良き日本食の復活さらに、発展というようなところもぜひ入れ込んでいただき、この取り組みが万博の大阪ヘルスケアパビリオンにつながっていくと良いと思っている。

## ● G委員

食というと、やはり若い世代、関係しているのはスポーツ。この健康にプラススポーツも入れるべき。あと女性をターゲットにするなら、健康プラス美容。せっかくの機会なので、外国人の方を呼んで万博に向けて盛り上げたらどうかと思う。

## ● 事務局

富山大会に視察に行った。地元のスポーツチームを招聘して、そこで子どもとの触れ合いのイベントも開催していた。そういうのも含めて、次の大阪大会でもスポーツとのコラボレーションが入ってもよいと思う。テーマのひとつに万博があるので、大阪の方のみならず日本全国の方、それから世界の方々に来ていただくことは大阪全体で盛りあがっていくためにもよいと思っている。

## ● H委員

小さい頃から、本当の味を知っていると、大人になると本当に健康な体に繋がっていくのではないかと思う。正しい食のあり方っていうのが、その人の人生をも育てていく。和食というのは、やはり日本人の身体にとってすごくマッチしている。大阪ならではの文化でもある。そのだしの文化をうまく利用して、親子を食育するというのも入れればよいと思う。食を通じての家族のだんらん、それがケータリングやお店の方に出かけるかもわからないが、食が楽しいものであるということを感じてもらえるひとときになればと思う。土日なので、これからの大阪を担う親子をターゲットにしてもいいのかと思う。

## ● I委員

食の自給率のアップを、どこかにはめることができるようであれば、お願いしたい。幼稚園の給食も見てもほとんどが外国産のものである。和食という話が出てきたが、材料は外国産ということであれば、非常に残念である。農業畜産業、水産業、そういったことも当然ブースの中で紹介があると思うが、その部分をしっかり出して、自給率を上げていくというようなことも盛り込んでいただきたい。

## ● 事務局

今後事業者選定時や決定した事業者との調整を行う段階であったり、実務的に行う企画委員会で、様々な検討をし、その段階においていただいたご意見を可能なかぎり反映できるよう、十分に検討調整させていただく。

## ● J委員

府民市民の方に、地元の農産物を知っていただくことに、今一生懸命PR等、広報をやっているところ。一例ですが、春菊の生産高がは、大阪が全国で一番多いことを府民市民の方は知らないと思う。そういったところをこういう機会にPRしていただいて、食に興味持っていただきたいと考えている。

## ● K委員

学校給食でも地産地消を推進している。今、春菊を学校給食で使えないかという話はしている。旬に取れた一番美味しい状態の春菊を冷凍食品のコロッケとかに入れるとかを考えている。和泉市でとれた旬のたけのこを1年中安定供給できるようにしている。いろいろな地域の農産物があると思うので、学校給食でこんなものを使ったらどうかというご意見をいただきたい。

## ● L委員

会長は、万博では、コテコテの大阪食をPRすると言っている。このイベントの趣旨である健康とうまく両立できるように工夫したいと思う。

## ● M委員

湿度と温度が急激に上がると、食中毒が発生しやすい。過去の開催日についても、6月の下旬近くで、食中毒の一番危険な時期になっている。なるべく会場内のブースの中で食事される方、キッチンカーで料理を作る方の監視についてご協力させていただきたいと考えている。

## ● N委員

離乳食も市販のものはよく食べるが、手作りはあまり食べてくれないという声を聞く。加工食品や外食も味が濃くなっているのではないかと思う。そのあたりを考えていかないといけない。春菊も蒸しパンにすれば子どもがよく食べる。そういうものができればと思う。

## ● 大阪府知事 吉村会長

それぞれの立場から観点は違うが、大阪の食の素晴らしさ、食の大切さ、食の重要さの話があったかと思う。大阪の食のすばらしさを全国大会で発信していきたい。食育は広い概念である。大阪の素晴らしい食を通じて何ができるのかを全国大会で考えていただきたい。大阪産（もん）、大阪の食文化の素晴らしさを発信すると同時に、未来に向けて食を発展させるため、どういったことが道しるべになるのか、食育、健康の道しるべになるのかを含め、ストーリーをしっかりと考え、大阪の食の素晴らしさを万博のイベントとして大きく展開をしていく。大阪の強みである食のすばらしさ、食育の大切さを全国に発信して欲しい。

## ● 大阪市長 横山会長代行

今日出された意見は私も考えてなかったような意見が大変いっぱいあった。事務局も今日の意見を参考にしてもらいたい。若年層へのアプローチというのがあり、例えばSNSのインフルエンサーの方とかと連携して、ちょっと発信力を強めて、親子で参加いただいて食育をするという観点も非常に重要だと思う。例えば、すぐできるような朝食メニュー講座があれば、私も個人的に聞いてみたいと思う。土曜日に生配信したら、日曜日に来てくれるかもしれない。万博に向けて、食育を含めて発信していくのは非常に重要な取り組みである。この大会成功に向け、皆さんと一丸となって取り組んでいきたい。